

# 情報通信部会長報告

1. 会議名 ワークーションセミナー（理財部会との共催）
2. 日時 2022年2月28日（月）13：30～15：00
3. 場所 イヤタカ
4. 後援 秋田ワークーション推進協会
5. 出席者 39名（会場26名、オンライン13名）
6. 情報提供



## 「秋田県のワークーション推進に係る取組について」

秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課  
人材誘致推進監 大森 慎也 氏

## 7. 講演

## 「秋田ワークーション推進協会の推進体制と取組事例・今後の展望」

秋田ワークーション推進協会 会長 松浦 隆一 氏

## 【秋田県のワーケーション推進の取組について】

### ① 受入体制の整備

ワーケーション利用に適したコワーキングスペースを整備するための支援金制度を設置した。（⇒ 県内16か所に整備された。）

### ② 情報発信

パンフレットやHPで働く場についての情報発信、秋田の魅力をPRする「ワーケーション会議in秋田」等の実施。

### ③ 誘致活動と実践

首都圏企業へのアンケート調査実施、秋田でのワーケーション実施のための個別交渉など。来年度は市町村等と共同でモニターツアーを実施し、コンテンツの発掘と磨き上げを行う。

- ・ ワーケーションを通じて、地域経済の底上げと関係人口の増加、そして移住、定住に繋げていきたいと考えている。
- ・ ワーケーション実践者の利便性を図ることが今後の課題。

## 【秋田ワーケーション推進協会の推進体制と取組事例・今後の展望】

### ①協会の概要

- ・大都市から秋田へのエリアシフトを促進し、県経済の振興に寄与することを目的として、2020年11月設立。
- ・オンラインを中心としたフォーラム、会議などの開催。

### ②ワーケーション事例紹介

- ・わらび座で行われたNECの社員研修を動画で紹介。
- ・社員旅行をする時代ではないため、ビジネスに寄せて研修とすることで社員のエンゲージメント向上に繋がった。
- ・企業では福利厚生と企業研修としてのニーズが高い。

### ③今後の展望

- ・新規進出企業や外国人へのアプローチを強化していく。

秋田には観光資源等の魅力が多くあり、その魅力をどう届けるかがワーケーションを推進していくうえで重要。